

SONIC CITY

2024 SERIES

2:00pm, March 15th (SAT),

2025

148

ソニックシティ 2024 シリーズ 第 148 回さいたま定期演奏会
2025年3月15日(土) 午後2時開演 / ソニックシティ 大ホール

第148回さいたま定期演奏会 日本フィルハーモニー交響楽団

プロコフィエフ バレエ《ロミオとジュリエット》ソニックシティ特別版 Sergei PROKOFIEV: Ballet "Romeo and Juliet" [Sonic City Ver.]

第一幕

1st Act

ヴェローナにて
モンタギュー家とキャピュレット家
舞踏会
出会い
バルコニー

休憩
(20分)

第二幕

2nd Act

教会
マキューシオvsティボルト
ロミオvsティボルト

第三幕

3rd Act

教会の秘策
墓地
ロミオとジュリエット

指揮：**梅田俊明**

Conductor: UMEDA Toshiaki

バレエ：**牧阿佐美バレエ団**

Ballet: Asami Maki Ballet Tokyo

コンサートマスター：**木野雅之** [日本フィル・ソロ・コンサートマスター]

Concertmaster: KINO Masayuki, JPO Solo Concertmaster

照明：**山本英明** (劇光社)

舞台監督：**森脇由美子**

主催

公益財団法人埼玉県産業文化センター / さいたま市 / 公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

後援

埼玉県 / 埼玉県教育委員会 / さいたま市教育委員会 / 埼玉県吹奏楽連盟

協賛

FV ジャパン

表紙作品提供

埼玉県立新座総合技術高等学校 デザイン専攻科 漆崎 新太

作品名「Accumulation」

作者コメント「Accumulation とは累積の意。奏者が抱える思い。

それらが累積し、一つになるイメージで製作しました。」

▶全てのプログラムが終了した写真撮影が可能になりました。撮影はスマートフォン・携帯電話のみ、自席にご着席のまま行い、動画の撮影はご遠慮ください。是非、コンサートの感動を多くの方と分かち合っていただければと存じます。(SNS等への投稿の際は、#ソニックシティの追加をお願いします)

【アンケートのお願い】今後のソニックシティ主催公演参考のため、アンケートへのご協力を願っています。アンケートにお答えいただきました方から抽選で3名様に本日の出演者・梅田俊明氏のサイン色紙をお送りいたします。右の二次元コードより、スマートフォン・タブレットからお答えください。(所要時間約5分)





©K. Miura

指揮：梅田 俊明

1984年桐朋学園大学音楽学部を卒業。1986年同研究科を修了。指揮を小澤征爾、秋山和慶、尾高忠明の各氏に師事。1983、84年には来日中のジャン・フルネ氏にも学んだ。1986年よりウィーン国立音楽大学指揮科に留学、オトマール・スイトナー氏に師事し研鑽を積んだ。帰国後、日本センチュリー、仙台フィルハーモニー、神奈川フィルハーモニーの指揮者を歴任。NHK響、読売日響、東京都響、東響、東フィル、日本フィル、新日本フィルを始め、国内主要オーケストラと長年にわたり共演を重ねている。2000年4月より仙台フィルハーモニーの常任指揮者に就任。オーケストラの発展に情熱を注ぎ込み2006年3月までその任を務めた。国内だけでなく、1996年1月には南西ドイツ・フィルハーモニーとスロヴァキア・フィルハーモニーの定期演奏会に出演、いずれも好評を博した。的確な棒さばきと音楽に対する誠実な姿勢でオーケストラからの信頼も厚い。東京藝術大学非常勤講師として後進の指導にもあたっている。



© 鹿摩隆司

牧阿佐美バレエ団

日本バレエ界草分けの一人、橘秋子が1933年に設立した橘秋子バレエ研究所、橘秋子バレエ団を母体として1956年に設立。質の高い衣装・舞台装置による豪華な全幕バレエの上演に定評がある。上演作品はチャイコフスキーの三大バレエ『眠れる森の美女』『白鳥の湖』『くるみ割り人形』をはじめとする主要な古典全幕バレエ、文学作品をバレエ化した『ロミオとジュリエット』『三銃士』、ジョージ・バランシン振付『セレナーデ』、サー・フレデリック・アシュトン振付『ラ・フィーユ・マル・ガルデ』、ローラン・ブティ振付『ノートルダム・ド・パリ』『アルルの女』『若者と死』『デューク・エリントン・バレエ』など近現代の著名な振付家の作品まで、幅広いレパートリーを持つ。新しい全幕バレエの創作にも積極的に取り組み、映像演出を大胆に取り入れた『飛鳥ASUKA』は、海外公演でも大きな成功を収めた。海外から著名な振付家、美術家、教師、舞踊家らを招聘し、質の高い舞台を上演する継続的な公演活動と、関連の教育機関（橘バレエ学校、AMステューデント、日本ジュニアバレエ、牧阿佐美バレエ塾）の一貫した教育システムにより、国内外で活躍する数多くのダンサーを輩出している。 <https://ambt.jp>

鏡土』、ジョージ・バランシン振付『セレナーデ』、サー・フレデリック・アシュトン振付『ラ・フィーユ・マル・ガルデ』、ローラン・ブティ振付『ノートルダム・ド・パリ』『アルルの女』『若者と死』『デューク・エリントン・バレエ』など近現代の著名な振付家の作品まで、幅広いレパートリーを持つ。新しい全幕バレエの創作にも積極的に取り組み、映像演出を大胆に取り入れた『飛鳥ASUKA』は、海外公演でも大きな成功を収めた。海外から著名な振付家、美術家、教師、舞踊家らを招聘し、質の高い舞台を上演する継続的な公演活動と、関連の教育機関（橘バレエ学校、AMステューデント、日本ジュニアバレエ、牧阿佐美バレエ塾）の一貫した教育システムにより、国内外で活躍する数多くのダンサーを輩出している。 <https://ambt.jp>

バレエの文化
キヤピュレット夫人

ジュリエット／米澤真弓

ティボルト／正木龍之介

ベンヴォーリオ／坂爪智栄

キャピュレット公／京當侑一龍

貴族 従者 民衆／茂田絵美子 久保茉莉恵 西山珠里 高橋万由梨

中島哲也 濱田雄河 米倉太陽 土屋文太

ロミオ／清瀧千晴

マキューシオ／大川航矢

ロンツォ神父／石田亮一

キャピュレット夫人／三宅里奈

揚 ～音楽と舞踊のもたらす高揚を体験する～

プロコフィエフ バレエ音楽『ロミオとジュリエット』

ソ連時代のロシアを代表する作曲家のプロコフィエフ (1891-1953)。だが当初はロシア革命を通じて生まれた労働者主体の政権を嫌い、世界各地を転々とした後にフランスへ移住する。だが祖国への想いは断ちがたく、1933年に帰還。当時の政権から、当初大歓迎を受けた。

このような中、翌1934年から35年にかけて、レニングラードのバレエ学校創設200周年のために作られたのがバレエ『ロミオとジュリエット』のための音楽だ。台本は当時のソ連を代表する文学者や振付師によって作成されたが、当初はロミオがすんでのところでジュリエットが生きていることに気付いてハッピーエンドに終わるといった具合に、プロコフィエフにとってみれば内容的に納得のゆかないものだった（やがてこのエンディングは改訂される）。さらに音楽が難しすぎてバレエ・ダンサーが踊れないといった悪評が立ち、結局のところ初演は1938年に当時のチェコスロヴァキアのブルノでおこなわれた。

バレエ音楽としては総計52曲からなるが、本日はこの演奏会のために特別に編まれた抜粋版（ただしあらずじに寄り添った内容）が演奏される。あらずじは以下のとおりである。

『ロミオとジュリエット』あらずじ

14世紀、イタリアの都市ヴェローナでは、モンタギュー家とキャピュレット家が政治的な立場の違いから、血で血を洗う抗争を繰り返していた。争いの絶えない両家に対し、ヴェローナの大公は再度争ったものを街から追放すると宣言する。

キャピュレット家の一人娘ジュリエットは14歳。母親から、知り合いのパリスと結婚するように言われるが、「私はまだ子供だから」と抵抗する。

モンタギューの一人息子のロミオは、血気盛んな16歳。気晴らしに友人たちとキャピュレット家の舞踏会に、仮面をつけて忍び込む。ロミオはジュリエットに近づき、その美しさを称える。ロミオの仮面がはずれ、2人は恋に落ちる。

その夜ロミオはキャピュレット家のバルコニーに忍び込み、ジュリエットと結婚の約束を交わす。2人は喜びと陶酔感に酔う。

翌日2人は秘密の結婚をするが、その帰り道、ジュリエットの従兄ティボルトの挑発に乗ったロミオの友人マキューシオが、決闘で命を落としてしまう。ロミオは逆上して、ティボルトを殺害する。キャピュレット家の人々が集まり、ティボルトの屍を前にモンタギュー家への永遠の報復を誓う中、愛するロミオに従兄を殺されたジュリエットは悲嘆にくれる。

ヴェローナの大公の命令により、ロミオは騒乱のかどで街から追放される。ジュリエットに助けを求められた修道僧ローレンスは、「仮死状態になって埋葬された後、目覚めたジュリエットがロミオと駆け落ちする」という秘策を考え、彼女に眠り薬の入った小瓶を渡す。またロミオに宛てて秘策を書いた手紙を送るものの、追放されていたロミオにはうまく伝わらない。またジュリエットは家族を欺くため、パリスとの結婚を承諾する。

ジュリエットの母と乳母は、ベッドで冷たくなっているジュリエットを見つけ驚愕する。ジュリエットはキャピュレット家代々の墓に安置される。報せをきいて駆けつけたロミオはジュリエットが本当に死んだと思い、毒をあおる。仮死状態からさめたジュリエットは、自分の横に死んだロミオがいることに絶望し、彼の短剣を胸に突き刺して彼の後を追う。

曲目解説：小宮正安

付記：なお牧阿佐美バレエ団の上演では、ロミオが息絶える前にジュリエットが目覚め、東の間の再会が果たされるシーンが挟まります。

〈アート〉と音楽 その⑥

2024年シリーズのコラムでは、新座総合技術高校デザイン専攻科の生徒のみなさんによるロビー装飾にちなんで、造形芸術と音楽との関係についてご紹介いたします。

『ロミオとジュリエット』の時代



『ロミオとジュリエット バルコニーの情景』
フォード・マドックス・ブラウン 1870画

『ロミオとジュリエット』のオリジナルの形は戯曲。言わずと知れた、イングランドのウィリアム・シェイクスピア（1564-1616）の手によるもので、16世紀末に初演されたと言われている。初演当初から好評を博し、イングランドのみならず、17世紀前半にはこの地からやって来た巡回劇団によって、ドイツやオランダでも上演がおこなわれた（といっても、オリジナル通りではなく、その内容をなぞった「翻案」だったようだ）。

それでもこの作品が現在にまで伝わる大ヒットとなったのは、18世紀半ば以降であるようだ。この頃になると、19世紀に誕生したヨーロッパ市民社会にもつながる「個人の目覚め」「個人の意識」が重視されるようになる。こうした状況の中、恋愛や結婚も、家同士のものではなく、個人の繋がりを基本とすべきではないかという考え方が頭をもたげerようになったのは当然のこと。結果、家同士の抗争によって引き裂かれるものの自分たちの愛を貫いたロミオとジュリエットの姿は、多くの人々の心を捉えていった。

例えば音楽に限っても、18世紀半ばから後半にかけてドイツに活躍したゲオルク・ベンダ（1722-95）という作曲家は、この戯曲に基づく歌芝居を書いた。もちろんこの作品、現在ではすっかり忘れられてしまっているが、当時はかなりのヒットとなり、第三者によるハッピーエンドバージョン（まるでプロコフィエフのバレエ音楽『ロミオとジュリエット』の元々の版と同様だ！）も出現した。

絵画の世界も然り。特に19世紀に入り、情熱的かつ悲劇的な生き方が称揚されるロマン派の時代になると、『ロミオとジュリエット』に基づいた作品が次々と書かれるようになる。しかも19世紀とは、鉄道をはじめとする交通網が発達し、それまで以上に人々（といっても当時は一部の裕福な人に限られていたが）が自由に、遠い場所まで移動できるようになった。そうした中で、太陽が燦々とあふれるヨーロッパ文化の中心地イタリアに、大きな関心が集まってゆく。

となると、『ロミオとジュリエット』が益々人気を博したのも当然だろう。この作品の舞台は、イタリアの古都ヴェローナ。元々フィクションであるにもかかわらず、この街に多くの人々が今風に言えば「聖地巡礼」に続々と訪れるようになり、2人にまつわる（とされた）様々な建物や場所が観光地化されていった。



日本フィルハーモニー交響楽団
第149回さいたま定期演奏会

2025 **5.24** SAT
開場13時 開演14時

指揮：カーチン・ウォン ヴァイオリン：服部百音
曲目：シベリウス／ヴァイオリン協奏曲
マーラー／交響曲第5番

©Ayane Sato ©YUI HORI

公演詳細




日本フィルハーモニー交響楽団
第150回さいたま定期演奏会

2025 **7.4** FRI
開場18時 開演19時

指揮：原田慶太楼 ピアノ：阪田知樹
曲目：ラフマニノフ／ヴォカリーズ (管弦楽版)
ラフマニノフ／バガニーニの主題による狂詩曲
ラフマニノフ／交響曲第2番

©kumiko suzuki ©HIDEKI NAMAI

公演詳細




日本フィルハーモニー交響楽団
第151回さいたま定期演奏会

2025 **9.27** SAT
開場13時 開演14時

指揮：小林研一郎 ヴァイオリン：神尾真由子
曲目：サン＝サーンス／ヴァイオリン協奏曲第3番
チャイコフスキー／交響曲第5番

©Makoto Kamiya

公演詳細




日本フィルハーモニー交響楽団
第152回さいたま定期演奏会

2025 **11.15** SAT
開場13時 開演14時

指揮：西本智実 ヴァイオリン：金川真弓
曲目：ベートーヴェン／ヴァイオリン協奏曲
ドビュッシー／小組曲
ラヴェル／ボレロ

©木村画軌 ©Victor Marin

公演詳細



■チケット価格 (単独券)

S：6,000円 A：4,500円 B：3,500円 Ys：2,000円 (5.24/7.4/9.27/11.15/1.31/3.28)

S：7,000円 A：5,500円 B：4,000円 Ys：2,000円 (12.12)

ホールメンバーズ、チョイス券など、各種割引あり

好評発売中!

日本フィル・ソニックシティ
「第九」演奏会2025
2025 **12.12** FRI
開場18時 開演19時

指揮：出口大地

ピアノ：鈴木愛美 (第12回浜松国際ピアノコンクール第1位)
ソプラノ：砂田愛梨 メゾソプラノ：山下裕賀
テノール：石井基幾 バリトン：高橋宏典
合唱：埼玉第九合唱団

曲目：ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第2番
ベートーヴェン/交響曲第9番「合唱」

©Satoru Masuko ©Yoshinobu Fukaya
©hiro.pberg_berlin ©FUKAYAauraY2 ©hiro.photo

公演詳細
QRコード

日本フィルハーモニー交響楽団
第153回さいたま定期演奏会 (バレエ公演)

2026 **1.31** SAT
開場13時20分 開演14時

指揮：飯森範親 バレエ：牧阿佐美バレエ団

曲目：★印=バレエ付き
シュトラウスII世/美しく青きドナウ/トリッチ・トラッチ・ポルカ★/ポルカ「元気にやろうぜ」/ポルカ「ハンガリー打戯」
ハチャトゥリアン/仮面舞踏会~ワルツ★
チャイコフスキー/白鳥の湖からワルツ/「情景 (第2幕冒頭)」★/くるみ割り人形から「トレバック」★/「花のワルツ」★
ドヴォルジャーク/交響曲第9番「新世界より」

©山岸伸 ©山廣康夫

公演詳細
QRコード

日本フィルハーモニー交響楽団
第154回さいたま定期演奏会

2026 **3.28** SAT
開場13時 開演14時

指揮：尾高忠明 ピアノ：牛田智大

曲目：ベートーヴェン/ピアノ協奏曲第5番「皇帝」
ベートーヴェン/交響曲第5番「運命」

©Martin Richardson ©Ariга Terasawa

公演詳細
QRコード

会場：ソニックシティ 大ホール

※演者・曲目変更もございます。予めご了承ください。

最大25% OFF！セット券がお得

2025シリーズセット券価格	S席	A席	B席	Ys席
6公演セット券(ホールメンバーズ)	27,000円	20,250円	15,750円	10,200円
6公演セット券(メルマガ・一般)	30,600円	22,950円	17,850円	10,200円
6公演+「第九」演奏会2025	S席	A席	B席	Ys席
定価	43,000円	32,500円	25,000円	14,000円
7公演セット券(ホールメンバーズ)	32,250円	24,380円	18,750円	11,900円
7公演セット券(メルマガ・一般)	36,550円	27,630円	21,250円	11,900円

●Ys席 (25歳以下) はA席またはB席から選べます。

●車イス席 (10席) をご利用の場合、Ys席と同料金になります。

〈チケットお申込み〉

ネット予約 <https://yyk1.ka-ruku.com/sonic-city-s/showList> ※ネット予約のご利用には、初めに利用登録が必要です。
ホールメンバーズ事務局 048-647-7722 (平日9:00~17:00)

JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA

日本フィルハーモニー交響楽団

広上淳一&日本フィル

オペラの旅 Vol.1

ヴェルディ

仮面舞踏会

Giuseppe VERDI: *Un Ballo in Maschera*

全3幕 セミ・ステージ形式 (イタリア語上演/日本語字幕付き)
Opera in three act (semi staged), in the original language (Italian) with Japanese subtitles



これは愛と裏切り、そして赦しの物語

2025年4月26日(土) 27日(日) 17:00開演 [16:20開場] サントリーホール

料金(税込)

2024年12月11日(水) 10:00発売

SS席 12,000円/S席 9,500円/A席 8,000円/B席 6,500円/C席 5,000円/D席 3,000円 前—後席間あり/電通受付のみ/
Y's席(25歳以下) 4,000円/G's席(70歳以上) 5,000円

<台本>アントーニオ・ソッマ <作曲>ジュゼッペ・ヴェルディ <演出>高島 勲



<指揮>
広上淳一
東京交響楽団
首席指揮者



<演出>
高島 勲



<アレーリア>



<リカルド>



<レナート>



<ケルリキ>



<オスカル>



<シルヴァーナ>



<サムエル>



<トム>

中村恵理 宮里直樹 池内 響 福原寿美枝 盛田麻央 高橋宏典 田中大輝 杉尾真吾

From: E.Torricelli - Elisabetta Tornatore 合唱団: Tokyo Chorus 合唱指揮: 栗原 真由美 合唱団: Tokyo Chorus 合唱指揮: 栗原 真由美

<会場>東京音楽大学 <楽付>広崎うらん <衣裳>桜井久美(アトリエビザ) <照明>岩島武潤 <舞台監督>早見浩司
日本フィルハーモニーセンター TEL.(03)5378-5911 (平日10時~19時) eチケット♪(東京圏Aまでお申込みです) <https://ticket.japanphil.or.jp>
主催:公益財団法人日本フィルハーモニー交響楽団

日本フィルハーモニー交響楽団
JAPAN PHILHARMONIC ORCHESTRA
設立:1975年 演奏:1976年